

土砂防 だより



新緑と富士（水ヶ塚）

特集 第62回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

土砂災害防止月間活動

静岡県支部通常総会	2
全国治水砂防協会総会	3
土砂災害防止月間活動	4
●急傾斜地パトロールの協働実施	
●「土砂災害防止功労者」の受賞	
●「砂防フェスティバルしずおか」開催	
土砂災害に対する全国統一防災訓練	6
平成18年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催

5月29日に、全国治水砂防協会静岡県支部の平成19年度(第62回)通常総会を、静岡市内で開催しました。

総会では、副支部長の前田袋井市長が「当県は全国でも土砂災害危険箇所が多く、土砂災害から県民の生命財産を守るため、より一層の努力が求められる」と砂防関係事業の重要性を訴えました。続いて、牧野国土交通省砂防部保全課長、花森副知事、吉川県議会副議長、大久保全国治水砂防協会理事長よりご祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。続いて、役員の変更が行われ、新役員が選出されました。

総会終了後、牧野保全課長から「最近の砂防事業の動向について」と題した講演をいただきました。滞りなく総会が終了できましたことを関係各位に感謝申し上げます。



花森副知事の祝辞



前田副支部長の挨拶（役員会）

〈平成19年度事業計画の概要〉

1 砂防事業の周知・啓発・普及

- ①国・県の実施する事業への協力
 - ・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
- ②会員による先進地視察研修の実施
 - ・砂防事業現地視察
- ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催
 - ・市町等砂防担当職員研修会の開催
 - ・土砂災害防止法講習会の開催
- ④他機関の実施する講習会等への参加

2 砂防事業等促進要望の実施

3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行

4 全国治水砂防協会等への協力



吉川県議会副議長の祝辞



大久保全国治水砂防協会理事長の祝辞



牧野保全課長による講演

平成19年度 全国治水砂防協会 静岡県支部役員の顔ぶれ

支 部 長		顧 問		副 支 部 長		会 計 監 査 役	
							
県知事 石川 嘉延	建設部長 衛門 久明	袋井市長 原田 英之	富士宮市長 小室 直義	河津町長 櫻井 恭次	森町長 村松 藤雄		
委 員							
							
静岡市長 小嶋 善吉	浜松市長 鈴木 康友	三島市長 小池 政臣	伊東市長 佃 弘巳	焼津市長 戸本 隆雄	伊豆市長 大城 伸彦	牧之原市長 西原 茂樹	小山町長 高橋 宏
							
							常任幹事 河川砂防局技監 本橋 和志

全国治水砂防協会通常総会開催される



綿貫会長の挨拶

総会は、綿貫会長による主催者挨拶の後、望月義夫国土交通副大臣の祝辞に続き、平成18年度の事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画・収支予算等が全会一致で承認されました。続いて、役員改選が行われ新役員が選出されました。お忙しい中、ご出席をいただきました会員の皆様には、心からお礼申し上げます。

5月16日に、(社)全国治水砂防協会の平成19年度(第71回)通常総会が、東京都千代田区の砂防会館で開催されました。

当日は、会員1,385名の出席のもと、来賓として本部理事の斉藤斗志二衆議院議員をはじめ多くの国会議員が出席されました。当支部からは副支部長の原田袋井市長をはじめ21名の会員にご出席をいただきました。



望月国土交通副大臣の祝辞

本県の 参加市町

袋井市、伊豆市、御前崎市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、富士川町、由比町、大井川町、川根町、森町、伊豆の国市、熱海市、小山町、伊東市、島田市、掛川市(計21市町)

※太字は会員本人の出席

平成19年度

土砂災害防止月間活動 6/1~30

みんなで防ごう土砂災害

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命・財産が失われています。

平成18年は、集中豪雨、台風などにより全国各地で1,441件、県内で26件の土砂災害が発生しました。

国土交通省と静岡県では、梅雨時で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆さまの理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「砂防フェスティバルしずおか」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催 など

1

～住民と砂防ボランティアとの協働～ 急傾斜地パトロールの実施

5月21日から6月19日に、県内637箇所の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域防災局、市町、警察、消防と協働で、延べ766人を動員し、崩壊防止施設の異常の有無、がけ面の崩壊・亀裂の有無、排水路の機能状況などを点検しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの異常が確認された箇所については、早急に改善措置を講じていきます。



パトロールの様子（藤枝市西方地区）

2

市町における広報活動の取り組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎への横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



広報かけがわ（6月1日号）

広報誌への掲載

下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、芝川町、静岡市、富士川町、由比町、島田市、焼津市、藤枝市、岡部町、川根町、川根本町、御前崎市、牧之原市、吉田町、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、森町、湖西市、新居町

ホームページで広報

下田市、三島市、函南町、静岡市、川根本町

土砂災害防止講習会の開催

下田市、三島市、藤枝市、菊川市、浜松市

ラジオで放送

三島市、浜松市

3

平成19年度（第25回）土砂災害防止推進の集い(全国大会)において 県内2団体が「土砂災害防止功労者」を受賞

6月6日に、平成19年度（第25回）土砂災害防止推進の集い（全国大会）が、「備えよう。明日は我が地域（まち）土砂災害。」をテーマに、金沢市で開催されました。

式典では、7つの個人・団体に対し、国土交通大臣より「土砂災害防止功労者」の表彰が行われ、本県からは下記の2団体が受賞されました。



藤枝市滝沢町内会



平成17年7月藤枝市滝沢地区で梅雨前線豪雨により地すべりが発生し、70世帯280人に避難勧告が発令されました。同町内会は、関係機関と連携し、警戒避難体制の確立に大きく貢献するなど、土砂災害防止に尽力されました。

由比町立由比小学校



由比小学校は、日本の東西を結ぶ重要交通網が通る由比町における地すべり対策の重要性について学習し、その成果を本年1月の「地すべりフォーラムin由比」で発表し、参加者及び地域住民の土砂災害防止等、防災意識の高揚と普及に尽力されました。

4

「砂防フェスティバルしずおか」の開催

6月10日(日)に、土砂災害の恐ろしさや砂防関係事業の大切さを県民の皆さまに知っていただくために、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「砂防フェスティバルしずおか」が開催されました。

このイベントは、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台が共催し、土砂災害防止に関するパネル展示やビデオ上映、砂防に関するクイズラリーなどが行われました。

静岡県のコーナーでは、6月15日に運用が開始された「土砂災害警戒情報」の説明をはじめ、土砂災害防止に関するパネルの展示、啓発グッズの配布などを行いました。また、静岡市清水区大内地区の「森と水辺を育てる会」の皆さんが作製した竹細工、竹炭・竹とんぼの配布などは大好評でした。

子供からお年寄りまで多くの来場者が訪れ、土砂災害についての関心を持っていただきました。



砂防フェスティバル会場



パネルを参考にクイズラリーの回答をする親子



県の担当者から土砂災害警戒情報の説明を受ける来場者



森と水辺を育てる会による竹細工の配布

土砂災害に対する全国統一

5月27日(日)に、土砂災害に対する防災訓練を全国一斉に行いました。

この訓練は、台風等による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的とするもので、32都道府県224市町村で訓練が実施され、合計16,700人が参加しました（H18は7,200人）。

本県では10市町において地元住民や行政関係者など660人が訓練に参加し、6月15日から運用が開始された「土砂災害警戒情報」の情報伝達訓練や避難勧告の発令、避難所への避難訓練などを実施しました。

参加者からは「昔この地区で発生した災害を思い出しながら避難した」などの感想が聞かれ、より実践的な訓練となりました。来年度の訓練は、平成19年度中に新たに土砂災害警戒区域に指定された市町等にも参加を呼びかけ、より実践的な訓練を実施します。

訓練参加市町

下田市、熱海市、三島市、沼津市、函南町、富士宮市、静岡市、藤枝市、掛川市、浜松市
計10市町（沼津市は6月10日に実施）

訓練の状況

●災害対策本部設置・対応状況



下田市河内地区

●住民へ避難の呼びかけ



熱海市西熱海地区

●災害時要援護者の避難支援

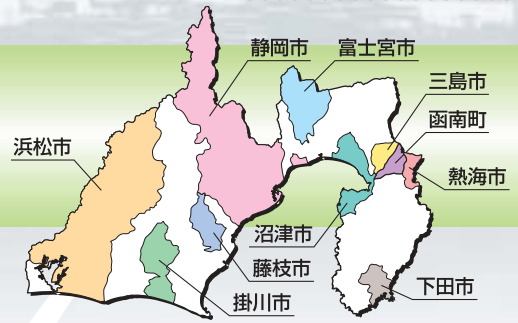


富士宮市麓地区



静岡市平野地区

防災訓練を実施



静岡市口坂本地区では…

6月6日に、静岡市葵区口坂本地区において土石流を想定した土砂災害避難訓練が実施されました。

午後1時30分に土石流センサーが模擬切断され、連動したサイレン及び監視小屋の赤色灯が作動すると同時に、同報無線と戸別受信機により住民に情報が伝えられました。

直ちに住民の避難が開始され、30分後の午後2時には全員の避難が確認されました。避難場所では、土砂災害警戒情報の説明等を行い、早めの自主避難を呼びかけました。



避難する住民

●避難所への避難訓練



富士宮市麓地区



静岡市平野地区

●土砂災害防止講習会の開催



静岡市平野地区（静岡大学土屋教授による講習会）



掛川市上垂木地区

平成18年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

土砂災害対策から県民の生命と財産を守るため、土砂災害危険箇所への砂防関係施設の整備を行いました。平成18年度は、砂防事業8箇所、急傾斜地崩壊対策事業26箇所が完成しました。

砂防事業

やとざわ
●谷戸沢砂防えん堤 (賀茂郡南伊豆町石井)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家7戸の保全を図りました。

ばいかざわ
●梅花沢砂防えん堤 (熱海市梅花町)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤2基を施工し、人家99戸及び宿泊施設の保全を図りました。

みくりがわひだりしかわ
●三栗川左支川砂防えん堤 (牧之原市静谷)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤2基を施工し、災害時要援護者施設（特別養護老人ホーム）の保全を図りました。

ふじせがわ
●藤瀬川砂防えん堤 (浜松市天竜区石神)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤2基を施工し、人家7戸の保全を図りました。また、当溪流で採用したコンクリートスリット砂防えん堤は、平常時の流出土砂は流下させ、洪水時には、流下する巨石等を捕捉する機能を有しています。

●砂防事業

溪流名	位置	事業費(百万円)	開始年度	事業概要
會毛沢	静岡市清水区小島町	110.0	H14	砂防えん堤工 H=7.0m・L=35.5m
三栗川左支川	牧之原市静谷	213.0	H14	砂防えん堤工2基 H=6.5m・L=41.0m、H=6.0m・L=37.0m
土沢	熱海市伊豆山	712.0	H9	砂防えん堤工 H=11.0m・L=67.5m
梅花沢	熱海市梅花町	315.0	H11	砂防えん堤工2基 H=8.0m・L=44.0m、H=7.5m・L=49.5m
鈴野川左支川	賀茂郡南伊豆町青野	146.4	H14	砂防えん堤工 H=11.5m・L=56.5m
谷戸沢	賀茂郡南伊豆町石井	157.9	H14	砂防えん堤工 H=10.5m・L=52.5m
大浦洞沢	沼津市戸田	295.0	H16	砂防えん堤工 H=10.5m・L=94.5m、溪流保全工 L=40.0m (H16災関緊急を含む)
藤瀬川	浜松市天竜区石神	194.0	H14	砂防えん堤工2基 H=9.0m・L=33.5m、H=5.5m・L=32.0m

急傾斜地崩壊対策事業

● 宇久須大久保 (賀茂郡西伊豆町宇久須)



平成15年4月の豪雨により、がけ崩れが発生したため、早急に対策工事を実施し、人家15戸の保全を図りました。

● 口野洞山 (沼津市口野)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を実施し、人家14戸の保全を図りました。

● 落合矢崎 (島田市落合)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を実施し、人家12戸の保全を図りました。

● 佐久米外平 (浜松市北区三ヶ日町)



平成17年7月の梅雨前線豪雨により、がけ崩れが発生したため、早急に対策工事を実施し、人家6戸の保全を図りました。

● 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	開始年度	事業概要
岩下星谷	下田市6丁目	34.5	H16	擁壁工 L=44m、法枠工 A=160㎡
笹原	賀茂郡河津町笹原	118.6	H17	法枠工 A=3,130㎡ (H17災関緊急含む)
石井宮ノ上	賀茂郡南伊豆町石井	143.0	H15	擁壁工 L=337m
池代中村	賀茂郡松崎町池代	176.2	H14	擁壁工 L=257m
宇久須大久保	賀茂郡西伊豆町宇久須	148.5	H15	擁壁工 L=219m (H15災関緊急含む)
海峰苑	伊東市宇佐美	200.0	H16	擁壁工 L=28m、法枠工 A=13,870㎡
口野洞山	沼津市口野	193.1	H14	擁壁工 L=231m
宿	伊豆市宿	211.0	H14	擁壁工 L=274m
土肥平野	伊豆市平野	112.9	H16	擁壁工 L=187m
佐野上根岸	伊豆市佐野	131.0	H14	擁壁工 L=228m
小池B	伊豆市八木沢	29.0	H16	擁壁工 L=70m
皆沢	伊豆の国市中	251.5	H14	擁壁工 L=374m
皆沢NO.2	伊豆の国市中	68.0	H15	擁壁工 L=146m
西山寺No.2	庵原郡由比町西山寺	88.6	H17	擁壁工 L=107m、法枠工 A=929㎡ (H17災関緊急含む)
興津井上町下ノ入	静岡市清水区興津井上町	179.9	H14	擁壁工 L=331m
大内山本	静岡市清水区大内	137.0	H14	擁壁工 L=448m
油山井戸沢	静岡市葵区油山	80.8	H17	擁壁工 L=216m
牛妻丹野	静岡市葵区牛妻	113.0	H14	擁壁工 L=98m
向敷地細谷	静岡市駿河区向敷地	268.0	H14	擁壁工 L=529m
落合矢崎	島田市落合	158.0	H15	擁壁工 L=319m
主前	藤枝市時ヶ谷	85.6	H16	擁壁工 L=280m
身成原下方	榛原郡川根町身成	102.0	H16	擁壁工 L=238m
上長尾梅島下	榛原郡川根本町上長尾	100.9	H16	擁壁工 L=200m
大日道白ヶ谷	袋井市宇刈	45.3	H15	擁壁工 L=110m
伊平	浜松市北区引佐町伊平	109.0	H15	擁壁工 L=185m
佐久米外平	浜松市北区三ヶ日町佐久米	94.6	H17	法枠工 A=1,884㎡ (H17災関緊急含む)

「土砂災害警戒情報」6月15日から運用開始

6月15日から、静岡県建設部と静岡地方気象台が共同で発表する「土砂災害警戒情報」の運用を開始しました。

この警戒情報は、土砂災害による被害の防止・軽減のため、土砂災害が発生するおそれが高まった時に、市町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう発表するもので、静岡地方気象台から県防災局を通じて市町に伝達され、テレビ・ラジオ・気象庁ホームページを通じて、県民へ伝えられます。

大雨警報が発表された際は、「土砂災害警戒情報」の発表にも注意を払い、発表があった場合は迅速な対応をお願いします。

4/23～5/9	警戒避難体制についての市町担当者への説明会(9会場)
5/22～29	NHK、民放4社への説明 砂防協会静岡県支部総会で資料配布 地震対策推進会議幹事会
31	記者発表
31～	報道取材対応(テレビ4社6回、新聞6社11回)
6/1	地震対策推進会議
8	静岡県防災会議
12	静岡県幹部職員会議
15	静岡地方気象台との協定締結
7/1	土砂災害警戒情報運用開始 県民日より

土砂災害警戒情報については砂防室ホームページをご覧ください。

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>

土砂災害警戒避難ガイドライン説明会の開催

6月28日に、県防災局、市町の防災担当者などを対象として、「土砂災害警戒避難ガイドライン説明会」を開催しました。



望月砂防室長の挨拶

説明会では、4月27日に発表された国土交通省砂防部の「土砂災害警戒避難ガイドライン」、「土砂災害警戒避難区域における警戒避難体制整備ガイドライン(静岡県版ガイドライン)」の改正、群馬県みなかみ町での先進事例などについて、砂防室から説明しました。

4/23～5/9	警戒避難体制についての市町担当者への説明会(9会場)
4/27	市町への通知(県防災局との連名)
5/29	砂防協会静岡県支部総会で資料配布
6/28	市町の防災担当者等への説明会開催

春の森づくり県民大作戦 子供たちとグリーンベルト作業会の実施

4月15日に、都市山麓グリーンベルト(砂防樹林帯)の整備を進めている清水大内地区で、住民・ボランティアとの協働で竹の伐採、たけのこ掘りを行いました。

「森と水辺を育てる会」(ボランティア団体)、地元の高部小、高部東小の児童、父兄、砂防ボランティアと行政関係者、約130名が参加しました。参加者の皆さんは、作業についての講習のあと、親子で協力し、たけのこ掘りを楽しんでいました。

これまでの「森と水辺を育てる会」による間伐や施肥などの地道な作業のお陰で、今回の春の森づくり県民大作戦は無事終了しました。



たけのこ掘り

富士砂防事務所 由比出張所が開所される

富士砂防事務所では、平成17年度から実施している由比地すべり対策事業の事業執行体制の更なる充実を図るため、由比出張所を開設し、4月9日に、富士砂防事務所由比出張所の「開所式典」が、由比町役場で開催されました。

式典には、由比地すべり対策促進期成同盟会、地元区長等の関係者が多数出席されました。



出張所の看板を掲げる河川部長(左)と由比町長(右)

環富士山火山防災連絡会総会が開催される



富士宮市長の挨拶

5月30日に、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側7市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が山梨県富士吉田市で開催されました。

総会では、平成18年度事業報告、平成19年度事業計画等が承認されました。

また、富士砂防事務所による「スラッシュ雪崩による被災状況」及び「火山噴火緊急減災対策砂防計画策定ガイドライン」についての報告に続き、気象庁地震火山部火山監視・情報センター長田所長より「富士山の火山監視と防災」についての講演がありました。

砂防指定地監視員講習会の開催

5月22日に、砂防指定地監視員を対象とした講習会が県庁で開催されました。

県が委嘱している監視員の方々は、県下で35名おり、日頃から各地の砂防指定地等の監視に努めていただいています。本講習会は、監視員の防災知識の向上を目指して開催しているもので、指定地内で制限される行為や、大雨時における警戒避難等についての講習、日頃の監視活動においての意見交換が行われました。

今後も、地域の指定地の保全と住民の安心・安全のために、監視をよろしく願います。

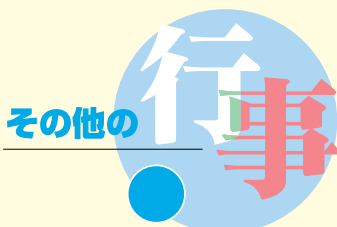
平成19年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会が開催される

5月23日～25日に、「砂防学会通常総会」並びに「研究発表会」が福井市で開催されました。

研究発表会では、砂防に関する研究成果や施工事例など約130件が発表され、活発な意見交換が行われるとともに、現地研修会では、福井豪雨の復旧事業や歴史的な砂防施設の見学を行いました。



アカタン砂防えん堤群を見学



- 4月24日 土木事務所砂防担当職員会議 (県庁)
- 27日 東海地区砂防課長会議
- 5月 7日 環富士山火山防災シンポジウム第2回実行委員会

- 5月 8日 第5回富士山火山砂防事業連絡会
- 9日 富士山大沢川扇状地堆積土砂処理協議会
- 15日 全国砂防主管課長会議 (東京都砂防会館)
全国治水砂防協会評議員会・参与会 (東京都砂防会館)
- 18日 (社)日本地すべり学会中部支部総会
- 21日 全国地すべりがけ崩れ対策協議会通常総会
- 6月13日 由比地すべり防災訓練
- 22日 大谷崩300年事業 第3回ワークショップ (静岡音楽館)
- 7月19日 土砂災害防止法連絡会 (県庁)

【平成19年度】土砂災害防止啓発用品等の紹介コーナー

当支部では、土砂災害防止啓発のため下記の啓発用品を作成・配布しました。ご活用いただきまして、ありがとうございます。

●土砂災害防止月間6月1日～6月30日
静岡県 静岡市



懸垂幕（静岡市役所）



公用車に貼り付け土砂災害防止月間をPR



市町、小中学校等へ配布しました



砂防フェスティバル、訓練会場、砂防関係イベントで配布しました

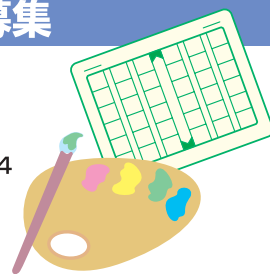
募集コーナー

土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため絵画・ポスター・作文を募集します。

- 【募集対象】 小中学生 【応募期間】 6月1日～9月15日
 【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）を明記して下さい。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL054-221-3042 FAX0654-221-3564
 静岡県建設部砂防室 土砂災害対策スタッフ

詳細は、砂防室ホームページからご覧いただけます。
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>



案内コーナー

大谷崩れ300年事業

2007年は、宝永地震(1707年)により大谷崩れが形成されてから300年を迎えることから、シンポジウム、記念碑の建立、安倍川エクスカッション等が実施されます。

- 【開催日】 10月28日
 【会場】 静岡市内
 【主催】 大谷崩れ300年事業実行委員会
 (静岡市、国土交通省静岡河川事務所、静岡県 等)

環富士山火山防災シンポジウム

2007年は、富士山宝永噴火(1707年)から300年にあたることから、ワークショップ、シンポジウム、現地見学会等が実施されます。

- 【開催日】 11月25日
 【会場】 富士宮市市民文化会館
 【主催】 環富士山火山防災連絡会
 国土交通省富士砂防事務所



平成19年 8-10月 砂防関係の 主な行事

- 8月 23～25日 市町長等砂防事業視察(北海道)
 29～31日 (社)日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会(三重県)
 9月 1日 防災の日
 13～14日 (社)日本地すべり学会中部支部現地検討会(由比町)



【表紙写真】 新緑と富士 く水ヶ塚 清 栄一さん(芝川町)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

編・集・後・記

今年も梅雨の季節を迎え、各地で土砂災害が発生しています。静岡県でも土砂災害警戒情報の運用が開始されました。早期避難に活用して下さい。情報提供、執筆を関係各位にお願いしております。是非ご協力をいただくとともに砂防だよりをご愛読いただきますようお願い申し上げます。

砂防だよりは砂防室ホームページからご覧いただけます。HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>